様式１

工期申出書

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　年　　月　　日

苫小牧市長　様

　　　　　　　　　　　　申請者

　　　　　　　　　　　　　　　　住所

　　　　　　　　　　　　　　　　商号又は名称

　　　　　　　　　　　　　　　　氏名

　次のとおり実工期を定めましたので申し出ます。

|  |  |
| --- | --- |
| 工事番号 | （　　　） |
| 工事名 |  |
| 契約締結年月日（予定） | 年　　　月　　　日（　　曜日） |
| 実工期 | 着手　　　　年　　　月　　　日（　　曜日）から  完了　　　　年　　　月　　　日（　　曜日）まで  （　　　　　日間） |

※１　落札者又は落札候補者の通知を受けた当日に提出すること。

　２　工事請負契約書の工期の始期日は、本申出書に記載された工事着手日とし、工期の終期日は工事完了日とする。（工事着手日及び工事完了日は、土日、祝日・休日、12月29日～1月3日に設定することはできない。）

　３　余裕期間（契約締結日から工事着手日の前日までの期間）において、受注者は、資材の搬入及び仮設物の設置等の準備工事を含め、工事に着手してはならない。

　４　余裕期間は、主任技術者又は監理技術者及び現場代理人を配置することを要しない。

　５　受注者の選択により増加する経費は、受注者の負担とする。

　６　契約保証期間は、契約締結日から工事完了日までとする。

　７　前払金を請求できる時期は、実工期内となる。

　８　発注者は、受注者が通常工期より１割以上長い又は通常工期の９割を下回る実工期を設定した場合は、その理由を確認し、実工期の設定について受注者と協議を実施することができる。